



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月5日

上場会社名 株式会社エスイー 上場取引所 東  
コード番号 3423 URL <https://www.se-corp.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮原 一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 野島 久弘 TEL 03-3340-5500  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 有  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,651	0.9	△19	—	△15	—	△33	—
2024年3月期第1四半期	5,603	△0.1	112	△47.5	96	△56.5	42	△70.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △14百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 50百万円 (△62.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△1.11	—
2024年3月期第1四半期	1.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	24,917	10,617	42.5	350.24
2024年3月期	26,432	11,024	41.6	363.64

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,579百万円 2024年3月期 10,984百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,435	△0.1	683	△49.9	685	△50.1	301	△68.9	9.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	31,256,600株	2024年3月期	31,256,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,048,528株	2024年3月期	1,048,528株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	30,208,072株	2024年3月期1Q	30,208,072株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2024年8月9日にTDnetへの登録及び当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げの広がりやインバウンド消費等から景気の緩やかな回復基調が見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化などにより、エネルギー価格及び原材料価格の上昇が続いております。また、米国金利の高止まりが継続しており、景気減速のリスクや円安ドル高傾向の継続が懸念されております。世界経済についても、各国の政策等による持ち直しが期待されるなか、米欧のインフレ抑制と成長の両立、中国経済の持続的成長の回復には依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループと関係の深い建築・土木市場においては、官公庁工事はここ数年の高水準を維持、民間設備投資はコロナ禍から回復しつつありますが、一方でエネルギー価格及び原材料価格の高止まりによるコスト増や建設現場における労働者不足が大きな影響を及ぼしております。アジア・アフリカにおける現地経済活動も新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻ってきております。

このような経営環境のもと当社グループでは、2023年5月に公表した「中期経営計画2023-2025」において、2030年度を見据え、既存事業の土台固めのため生産を含めたサプライチェーンの効率化等を図るとともに、未来に向けた種まきのための実行体制を編成し、施策を確実に実施する体制としております。また、「中期経営計画2020-2022」の中で取り組んでおりました戦略的資源投入につきましては、エネルギー関連事業は次なる研究ステージに進み、海外関連では新たな事業の展開に着手するなど、新しい事業分野への足掛かりを固めるための先行投資を更に強化してまいりました。これらにより、エスイーグループとして持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでおります。また、昨今の原材料価格の上昇に対しては、営業部門と生産部門の連携により調達を最適化するとともに販売価格への転嫁を進めるなど計画利益の確保に努めております。

当第1四半期連結累計期間は、建設用資機材の製造・販売事業において、橋梁関連のケーブル製品納入や土木耐震金物の案件が好調に推移し、価格転嫁も順調に進捗しました。一方で、建築用資材の製造・販売事業の鉄骨工事分野及び建設コンサルタント事業の期初受注残と案件消化が減少しました。その結果、売上高56億51百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

一方、利益面では、補修・補強工事業での大型工事の利益率低下や、研究開発強化等による販管費の増加が主な要因となり、営業損失19百万円（前年同期は1億12百万円の営業利益）、経常損失15百万円（前年同期は96百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円（前年同期は42百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (建設用資機材の製造・販売事業)

この事業では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」への対応が進められている中、橋梁更新工事や豪雨災害などの対策工事が進められております。

そのようななか、当第1四半期連結累計期間におきましては、高速道路リニューアル関連の橋梁関連のケーブル製品納入や土木耐震金物の案件が好調に推移し、価格転嫁も順調に進捗しました。一方で、中期経営計画の施策推進により経費は前年同期比で増加しました。

この結果、この事業の売上高は25億37百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益47百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

#### (建築用資材の製造・販売事業)

この事業では、建築金物分野におきまして、内装関連は鋼材価格の先行き不透明感や安価な海外製品による競争激化により需要の見極めが難しい一方、仮設建材関連は首都圏における都市開発等をはじめ中小物件が高稼働を維持しており工事が順調に推移しております。また、鉄骨工事分野におきましては、一部地場の物件の受注にて価格競争が激しくなっております。当第1四半期連結累計期間におきましては、建築金物分野で売上が増加し材料単価が下落したことにより利益も増加しました。鉄骨工事分野では一部地域における期初受注残が減少したことにより案件消化も減少し、売上と利益が大きく減少しております。

この結果、この事業の売上高は24億81百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益1億1百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

## (建設コンサルタント事業)

この事業では、アフリカ諸国をはじめ、アジア圏・大洋州地域等の各国において、道路・橋梁建設や設備機材整備等のプロジェクトに関わるコンサルタント事業を展開しております。特にフランス語圏のアフリカ諸国では強みをもっており、数多くの実績を残してきております。また、新規分野として国内外におけるBIM/CIM関連技術を活用した業務への参画を目指しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前年度に独立行政法人国際協力機構（JICA）案件が減少し、期初受注残が少なかったことにより案件消化が減少しました。

この結果、この事業の売上高は1億60百万円（前年同期比27.3%減）、営業損失23百万円（前年同期は3百万円の営業利益）となりました。

## (補修・補強工事業)

この事業では、社会インフラ老朽化対策における橋梁、トンネルの補修・補強工事を推し進めております。国土強靱化対策等が進捗しており、受注環境は引き続き良好に推移しております。当第1四半期連結累計期間におきましては、工事は順調に進捗しましたが、大型工事の中で追加工事が発生したため利益率が下がり、他の工事案件で利益率低下をカバーできませんでした。

この結果、この事業の売上高は4億71百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益15百万円（前年同期比72.1%減）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は249億17百万円（前連結会計年度末比15億15百万円減）となりました。内訳は、流動資産160億3百万円（前連結会計年度末比15億53百万円減）、有形固定資産73億70百万円（前連結会計年度末比40百万円減）、無形固定資産1億42百万円（前連結会計年度末比11百万円減）、投資その他の資産14億1百万円（前連結会計年度末比90百万円増）でありました。資産の減少の主な要因は、電子記録債権が6億48百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が12億58百万円、現金及び預金が10億88百万円減少したことなどによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は142億99百万円（前連結会計年度末比11億8百万円減）となりました。内訳は、流動負債が90億80百万円（前連結会計年度末比7億99百万円減）、固定負債が52億18百万円（前連結会計年度末比3億9百万円減）でありました。負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が3億75百万円、借入金が2億96百万円、電子記録債務が2億59百万円減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は106億17百万円（前連結会計年度末比4億6百万円減）となりました。純資産の減少の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により33百万円、株主配当金の支払いにより3億92百万円、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では2024年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,351,248	4,262,396
受取手形、売掛金及び契約資産	7,033,604	5,774,759
電子記録債権	2,143,182	2,791,383
商品及び製品	688,881	755,451
仕掛品	586,572	554,316
原材料及び貯蔵品	1,459,933	1,501,067
その他	344,114	393,564
貸倒引当金	△50,490	△29,572
流動資産合計	17,557,046	16,003,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,856,357	2,807,648
機械装置及び運搬具(純額)	1,118,394	1,093,886
工具、器具及び備品(純額)	109,577	107,249
土地	3,054,542	3,054,542
リース資産(純額)	271,920	266,346
建設仮勘定	134	40,343
有形固定資産合計	7,410,926	7,370,017
無形固定資産		
のれん	35,137	25,697
その他	118,126	116,399
無形固定資産合計	153,264	142,096
投資その他の資産		
投資有価証券	266,220	295,754
その他	1,074,627	1,161,461
貸倒引当金	△29,226	△55,261
投資その他の資産合計	1,311,622	1,401,955
固定資産合計	8,875,813	8,914,069
資産合計	26,432,859	24,917,437

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,747,820	3,372,039
電子記録債務	2,407,159	2,148,127
短期借入金	310,522	400,522
1年内返済予定の長期借入金	1,542,536	1,457,586
未払法人税等	227,148	92,046
賞与引当金	181,742	109,822
資産除去債務	59,731	—
受注工事損失引当金	—	1,422
その他	1,403,343	1,499,289
流動負債合計	9,880,003	9,080,856
固定負債		
長期借入金	3,922,814	3,620,960
役員退職慰労引当金	602,040	592,457
退職給付に係る負債	458,895	466,428
資産除去債務	242,374	242,563
その他	301,878	296,245
固定負債合計	5,528,002	5,218,655
負債合計	15,408,005	14,299,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,228,057	1,228,057
資本剰余金	1,026,676	1,026,676
利益剰余金	8,835,867	8,409,564
自己株式	△192,656	△192,656
株主資本合計	10,897,945	10,471,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,673	120,266
繰延ヘッジ損益	29	—
退職給付に係る調整累計額	△12,657	△11,975
その他の包括利益累計額合計	87,045	108,290
非支配株主持分	39,862	37,992
純資産合計	11,024,853	10,617,925
負債純資産合計	26,432,859	24,917,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,603,920	5,651,682
売上原価	4,181,158	4,178,060
売上総利益	1,422,761	1,473,622
販売費及び一般管理費	1,310,431	1,492,672
営業利益又は営業損失(△)	112,329	△19,049
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	4,386	4,445
受取手数料	140	529
受取家賃	2,176	2,124
貸倒引当金戻入額	2,059	375
スクラップ売却益	9,408	10,614
その他	5,167	8,404
営業外収益合計	23,357	26,513
営業外費用		
支払利息	8,583	10,666
売上割引	3,624	2,363
為替差損	25,045	9,401
寄付金	1,262	0
その他	391	1,000
営業外費用合計	38,907	23,432
経常利益又は経常損失(△)	96,780	△15,968
特別利益		
固定資産売却益	5,470	1,599
特別利益合計	5,470	1,599
特別損失		
固定資産除却損	142	694
特別損失合計	142	694
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	102,108	△15,062
法人税等	59,993	20,405
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,115	△35,468
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	△1,870
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	42,158	△33,597



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	42,115	△35,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,904	20,593
繰延ヘッジ損益	45	△29
退職給付に係る調整額	△921	681
その他の包括利益合計	8,028	21,245
四半期包括利益	50,143	△14,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,187	△12,352
非支配株主に係る四半期包括利益	△43	△1,870

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	143,648千円	173,447千円
のれんの償却額	9,440	9,440

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
一時点で移転される財	2,349,022	1,754,932	7,096	132,052	4,243,104	—	4,243,104
一定の期間にわたり移転 される財	—	813,610	214,236	309,185	1,337,032	—	1,337,032
顧客との契約から生じる 収益	2,349,022	2,568,543	221,332	441,238	5,580,136	—	5,580,136
その他の収益	23,784	—	—	—	23,784	—	23,784
外部顧客への売上高	2,372,806	2,568,543	221,332	441,238	5,603,920	—	5,603,920
セグメント間の内部売上 高又は振替高	15,538	10,844	—	617	26,999	△26,999	—
計	2,388,344	2,579,387	221,332	441,855	5,630,920	△26,999	5,603,920
セグメント利益又は 損失(△)	△33,083	188,703	3,346	54,325	213,292	△100,962	112,329

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△100,962千円には、セグメント間取引消去1,700千円、のれん償却額△9,440千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△93,222千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発部門の人件費・経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサ ルタント事 業	補修・補強 工事業			
売上高							
一時点で移転される財	2,498,245	1,730,439	40,821	159,004	4,428,511	—	4,428,511
一定の期間にわたり移転 される財	—	751,537	119,980	312,851	1,184,369	—	1,184,369
顧客との契約から生じる 収益	2,498,245	2,481,977	160,801	471,856	5,612,881	—	5,612,881
その他の収益	38,801	—	—	—	38,801	—	38,801
外部顧客への売上高	2,537,047	2,481,977	160,801	471,856	5,651,682	—	5,651,682
セグメント間の内部売上 高又は振替高	17,298	—	—	—	17,298	△17,298	—
計	2,554,346	2,481,977	160,801	471,856	5,668,981	△17,298	5,651,682
セグメント利益又は 損失(△)	47,260	101,417	△23,788	15,149	140,038	△159,088	△19,049

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△159,088千円には、セグメント間取引消去3,645千円、のれん償却額△9,440千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153,293千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発部門の人件費・経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。